

# 手話言語白書

## 【第二版】

### 手話拍手が響き合う共生社会をめざして

手話言語条例は649自治体（2026年5月7日現在）で成立・制定、2025年11月には東京2025デフリンピック開催。「手話」を言語として正当に位置付ける時代へ移行しつつあるいま、待望の『手話言語白書【第二版】』の登場です。『手話言語白書』（2019年刊）を全面改訂し、2025年6月制定「手話に関する施策の推進に関する法律」が、きこえない・きこえにくい方々を取り巻く社会にどのような変化をもたらすかを探究する内容に刷新。本法を手話言語施策のさらなる充実・改善に資するものにするための、専門的かつ実践的な指南書に生まれ変わりました。

A5判/並製/344頁 ©定価3,080円(本体価格2,800円+税) ISBN 978-4-7503-6118-5

### 一般財団法人 全日本ろうあ連盟 編集

〈執筆者紹介〉

久松 三二(全日本ろうあ連盟前常任理事・事務局長)  
大杉 豊(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター教授)  
武居 渡(金沢大学人間社会研究域学校教育系教授)  
松本 大輔(全国聴覚障害教職員協会会長)  
大鹿 綾(東京学芸大学特別支援科学講座准教授)  
吉野 幸代(全日本ろうあ連盟理事)  
小林 泉(全日本ろうあ連盟理事)  
小中 栄一(全日本ろうあ連盟参与)  
白澤 麻弓(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター教授)  
岩山 誠(東京聴覚障害者支援事業所所長)  
田門 浩(弁護士/国連障害者権利委員会委員)

内容構成

- 第1章 はじめに～手話言語の5つの権利～
- 第2章 手話言語とは
- 第3章 手話言語を獲得する
- 第4章 手話言語で学ぶ
- 第5章 手話言語を学ぶ
- 第6章 手話言語を使う
- 第7章 手話言語を守る～手話施策推進法制定を新たな出発点として～

参考文献  
資料

推薦します



石原 保志

(国立大学法人 筑波技術大学 学長)

手話施策推進法の制定施行を受け、本書は手話言語をめぐる現状と課題、そして未来への展望を体系的に示すものです。聾学校や難聴学級など教育現場に携わる方々にとって有益な一冊として、広く推薦いたします。

推薦します



石橋 大吾

(一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事長)

自治体による格差の解消や手話言語施策の充実に向け、大きく貢献できる参考書として、本書を推薦します。

## 自治体で、 教育現場で生きる 手話施策の指針

### ご注文方法

#### ◎書店購入の場合

このチラシを最寄りの書店へ持参の上、ご注文下さい。

#### ◎直接販売:クレジットカード決済

右のQRコードからクレジットカード決済をいただいた方には、送料無料で直送いたします。

#### ◎直接販売:請求書払い

郵便局の振込用紙を同封して発送いたします。公費支払いをご希望の方は公費書類の同封も可能です。どちらの場合も、書籍代に加えて手数料一律550円をご負担いただいておりますのでご了承ください。



番線印
フリガナ
お名前
〒
ご住所
冊

## 手話言語白書【第二版】

### 手話拍手が響き合う共生社会をめざして

一般財団法人 全日本ろうあ連盟 編集

フリガナ

お名前

〒

ご住所

TEL

Mail

A5判/並製/344頁

◎定価3,080円

(本体価格 2,800円+税)

ISBN 978-4-7503-6118-5

## 明石書店

〒101-0021

東京都千代田区外神田6-9-5

TEL.03-5818-1171

FAX.03-5818-1174

URL=https://www.akashi.co.jp/

E-mail=eigy@akashi.co.jp

■図書目録送呈